事務連絡

平成29年8月16日

　　都道府県

各　保健所設置市　 衛生主管部（局）　御中

　　特 別 区

健康局結核感染症課

ヨーロッパ地域における麻しん患者報告数の増加に伴う海外渡航者への注意喚起について
（協力依頼）

近年、ヨーロッパ地域において麻しん報告数の増加が確認されていますが、今般、特にイタリアとルーマニアにおける報告数の増加が顕著であることが、ECDC（欧州疾病対策センター）から発表されました（※１）。

※１　ECDC　平成29年第32週感染症状況報告より

○イタリアの状況

・本年８月４日の時点で4,087名の麻しん患者が報告されている（昨年は年間861名）。

○ルーマニアの状況

・本年８月４日の時点で6,486名の麻しん患者が報告されている（昨年は年間1,969名）。

これらの状況を踏まえ、海外渡航者への注意喚起のため、別添のとおりリーフレットを作成いたしました。

貴自治体におかれましては、海外渡航者に対して、以下の２点について広く周知いただきますようお願いします。

1. 麻しんにかかったことが明らかでない場合、渡航前には、麻しんの予防接種歴を母子手帳などで確認し（※２）、２回接種していない場合は予防接種を検討すること

※２麻しんの既往歴や予防接種歴が不明の場合は抗体検査を検討すること

1. 帰国後には、２週間程度は麻しん発症の可能性も考慮して健康状態に注意すること

別添１：麻しんリーフレット（出国前の注意事項）

別添２：麻しんリーフレット（帰国後の注意事項）

参考

・厚生労働省　夏休みにおける海外での感染症予防について

<http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/travel-kansenshou.html>

・渡航者向けの麻しんの予防啓発活動に「マジンガーＺ」を起用

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000172672.html>